

# 議会 だより



鳴門市  
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発行／2025年(令和7年)12月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

## 目次

令和7年第3回定例会の議決結果	②
請願の処理、意見書、人事案件	②～③
委員会審査	④～⑤
一般質問	⑥～⑪
令和6年度決算審査	⑫～⑬
鳴門高校「表紙制作」	⑭～⑮
令和7年第4回定例会の予定、ご意見箱	⑯

## “夢をかたちに”できる場所 ～鳴門高校～



鳴門高校は“夢をかたちに”できる学校をめざして、生徒一同頑張っています。  
市民の皆様の期待を力に変え、鳴門高校の伝統を守りながら新たな歴史を築いていきます。  
鳴門高校と鳴門の未来を担う、若き魂に、熱い応援をお願いいたします。

## 《 令和 7 年 第 3 回定例会の議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の 委員会
議案第50号	令和 7 年度鳴門市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決	予算決算
議案第51号	令和 7 年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第 1 号）		
議案第60号	令和 7 年度鳴門市一般会計補正予算（第 4 号）		
議案第52号	鳴門市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第53号	鳴門市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正について		
議案第54号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		
議案第55号	鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		
議案第59号	財産の取得について		
議案第56号	鳴門市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	生活福祉
議案第57号	工事請負契約の締結について（ごみ焼却施設設備修繕工事）		
議案第58号	工事請負契約の締結について（鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち建築工事）		
議案第61号	工事請負変更契約の締結について（鳴門市文化会館耐震改修事業）	原案可決	文化会館耐震改修事業工事請負契約審査特別
報告第 7 号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報 告	生活福祉
報告第 8 号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について		産業建設
報告第 9 号	令和 6 年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について		予算決算
報告第 10 号	令和 6 年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
発議第 4 号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
意 第 3 号	「徳島県平和の日」を定める条例の制定を求める意見書	原案可決	
同意第 1 号	教育委員会委員の任命について	同 意	
同意第 2 号	公平委員会委員の選任について	同 意	
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦について	同 意	

### 請願の処理

請願番号	案 件	議決結果	所管の 委員会
請願第 11 号	「徳島県平和の日」の条例制定を求める意見書の提出を求める請願	採 択	総務文教
請願第 12 号	木津・姫田線 1 号橋の強度不足に伴うバス路線変更への対応に関する請願書	採 択	

## 「徳島県平和の日」を定める条例の制定を求める意見書

昭和20年7月4日、徳島市は未曾有の大空襲を受け、住宅区域の大半が焼失し、多くの尊い命と市民生活の基盤が失われた。

戦後、日本は平和憲法のもと、平和国家として歩みを進め、今日の繁栄を築いてきた。

徳島県議会においては、県を挙げて核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を目指す意思を内外に示すため、昭和57年に全国に先駆けて「非核の県」宣言を行った。

また、鳴門市議会においても、戦争のない平和な世界の実現が人類共通の願いであるとの認識のもと、昭和60年に「非核平和都市」を宣言している。

しかしながら、国際情勢はいまだ不透明であり、平和の尊さを改めて問い直すことが強く求められている。

徳島大空襲という歴史的事実は、戦争の惨禍と平和の価値を次世代へ伝える貴重な教訓となっている。戦争を知らない世代が増える中で、この記憶を風化させることなく、次の世代へ語り継ぐことが重要である。

よって、徳島大空襲のあった7月4日を「徳島県平和の日」と定め、平和を希求し、基本的人権を尊重する社会の実現を再確認する日とすることは、県民の平和意識を高め、持続可能な平和社会の構築に寄与するものである。

以上の趣旨により、徳島県において「徳島県平和の日」を定める条例を制定し、県民の平和意識の高揚及び基本的人権の尊重を図ることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年9月26日

鳴門市議会

※定例会で可決された意見書は、徳島県知事へ送付しました。



### 人事案件

#### ●教育委員会委員

かわ 隆博 氏（大麻町）

#### ●公平委員会委員

まえだ 恵 氏（撫養町）

#### ●人権擁護委員

こんどう 稔夫 氏（北灘町）

にしかわ 寛 氏（大津町）

なかつ 守 氏（撫養町）

### 議会広報番組

〈テレビ鳴門で放送〉

〈放送日〉

令和7年12月1日(月)～12月15日(月)

〈放送時間〉

●デジタル111ch  
(8:00～／13:00～／23:00～)

●デジタル122ch  
(7:00～／12:00～／16:00～／  
18:00～／21:00～／22:00～)

(生放送・特別番組により放送されない場合があります)





## 総務文教委員会

### ●議案第59号

#### 財産の取得について

市内小中学校において使用するタブレット型端末を取得するにあたり、議会の議決を求めるもの。

【質疑】 購入するタブレット型

端末の耐用年数は。

【答弁】 一般的なタブレット型

端末は概ね4年とされているが、5年間使用する予定である。

【質疑】 よりスペックの高い

機種もあると思うが、なぜこの機種になったのか。

【答弁】 県の補助金の1台あ

たりの上限額である5万5000円を可能な限り超えない範囲で選定した結果、この機種になったと考えている。



【質疑】 メーカーの選定理由は。

【答弁】 OSをChrome OSに指定しプロポーザルを実施した結果、端末のスペックやサポート体制の点で優位性のあった四国通建株式会社が提案したHP製の機種となった。

## 生活福祉委員会

### ●議案第56号

#### 鳴門市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法の改正に伴う乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施に向けて、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を新たに制定するもの。

【質疑】 既存の通園制度との違いは。

【答弁】 保育所や認定こども園の利用と比較すると、こども誰でも通園制度は利用児童の対象年齢が6か月から3歳未満までである点、令和7年度の制度設計では利用時間が月10時間以内と短時間である点、本制度は保護者の保育の必要性や利用理由を確認することなく利用することが認められている点などが異なる。



【質疑】 どのような利用者を想定しているのか。

【答弁】 保育所などを利用せず、親族に預けて短時間働いている方や在宅で育児をする方など、保育所の利用要件である月48時間以上の就労を満たしていない方を本制度の利用対象者として想定している。



## 予算決算委員会

### ●議案第50号

#### 令和7年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）

物価高騰対策事業として、就学前施設や小中学生の給食費無償化事業、市内漁協を支援する「鳴門の海業」推進交付金事業などを実施するほか、RSウイルス感染症重症化予防事業、健康福祉交流センター改修事業、鳴門まちなか未来ビジョン策定推進事業などの本市の将来を見据えた重点施策にかかる予算を編成するもの。

【質疑】 RSウイルス感染症重症化予防事業の実施経緯は。

【答弁】 令和7年6月に高知県須崎市が全国で初めて乳児への抗体製剤投与事業を開始したことを受け、鳴門市医師会から同事業の実施提案があった。抗体製剤を取り扱う製薬会社に確認したところ、欧米並みの価格での提供が可能との回答があり子育て支援の充実に図るため事業を計画した。

### 【要望】

妊娠中に母子免疫ワクチンを使用し、出生後乳児に抗体製剤を投与する2段階対応とすればさらに予防効果が期待できることから、母子免疫ワクチンの導入をしてどうか。



### ●議案第60号

#### 令和7年度鳴門市一般会計補正予算（第4号）

鳴門市文化会館耐震改修事業に係るアスベスト関連工事の追加などに伴い、同事業の継続費について補正を行うもの。

【質疑】 事業費の財源を長寿命化事業債から緊急防災・減災事業債に変更した理由は。

【答弁】 予算計上の段階では、具体的にどの地方債をどの程度活用できるか確定できない。本事業でも、事業を進める中で国や県と協議を重ねた結果、すべての工事費に緊急防災・減災事業債を利用できることになった。今後より有利な財源を確保し、市の負担を可能な限り少なくするよう取り組んでいく。

【質疑】 今後追加予算が発生する可能性はないのか。

【答弁】 今後の物価上昇が止まっておらず、また、この事業は今後1年以上続くことから、契約書にある物価スライド条項に基づいて、業者から物価上昇への対応を求める提案が出る可能性は高い。

【質疑】 基本設計時のアスベスト調査の精度が高ければ初期予算に反映できたのでは。また、今後アスベストは出ないのか。

【答弁】 基本設計でも書面調査、目視確認、70検体の分析調査を行い、工事を開始する際には法令などで定められた事前調査を行い、新たにアスベストが確認されることがある。また、今後の工事中に天井や壁を剥がした際にアスベストが見つかる可能性もあり、その場合には、法令などに基づいて適切に対応する。

# 一般質問

## 代表質問

### ①小西 努(会派 潮)

#### 1. 防災行政について

- (1) 津波注意報などの発表時の対応について

#### 2. 人口減少対策について

- (1) 企業誘致の環境整備について

#### 3. スポーツ行政について

- (1) スポーツ大会・合宿の誘致について

### ②長濱 賢一(会派 創心クラブ)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 人口減少対策について
- (2) まちづくりについて
- (3) 物価高騰対策について



### ③高麗 裕之(会派 ナルト地方創生会)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 地方創生2.0について

#### 2. 高齢者施策について

- (1) 高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて

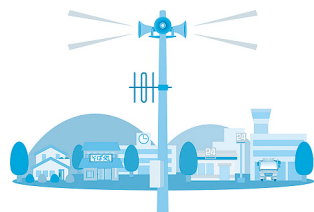
#### 3. 指定ごみ袋無償交付制度について

- (1) 交付場所の拡充について

### ④宅川 靖次(会派 令和なると)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 戦後80年について
- (2) デジタル防災行政無線について



### ⑤浜 盛幸(会派 公明党)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 地域公共交通計画について

#### 2. 防災減災行政について

- (1) 地域防災対策について



今号より各議員の一般質問の記事に、二次元コードを追加しました。二次元コードをスマートフォン等で読み込むと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

※動画視聴には通信料がかかります。Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。

問人口減少を食い止めるには働く場が不可欠である。企業誘致については、セオリー通りばかりでは成功しない。市が現在取り組んでいる企業誘致の方針と進捗状況について。

### 攻める企業誘致

答沿岸部に避難指示を発令し、9か所の避難所を開設。空調は、年次計画で整備し前倒しも検討。水は、1人1日3リットルを確保。福祉避難所の指定や個別避難計画を作成している。今後も地域と連携し防災力を推進する。

問カムチャツカ半島地震に伴う津波注意報発表時、市はどのように避難指示を出したのか。また、避難所の空調や水の備蓄は整っていたのか。さらに、介護施設や障害者施設といった要配慮者利用施設への対応・備えをどう強化するのか。

### 守る防災



会派  
潮

こにし つとむ  
小西 努

動画はこちら



答近年は多競技で誘致実績があり、関西圏を中心に来訪。また新スポーツ施設建設、UZUPAPK拡張などを進めており、使用目的や競技の多様化など社会的な変化を踏まえ、スポーツ施設の充実に向けた全体的な整備方針を検討する。

### 走るスポーツ

問スポーツ合宿・大会の誘致に取り組んでいるが、野球場やサッカー場の不足が課題である。今後のスポーツ施設の充実についての市の考えは。

答製造業に加え、コールセンターやスタートアップ企業誘致にも注力。令和7年10月から大道銀天街にインキュベーション施設を開設し、地元企業などとのつながりを支援。多様な業種の誘致を進め、雇用創出と定住人口増につなげる方針である。



大道銀天街の  
インキュベーション施設

代表質問

**問** 現在本市の年間出生者数は約200人である。400人を上回っていた世代が、結婚や出産適齢期となる2030年代に入るまでが少子化傾向を反転できるかのラストチャンス。なるとまると子育て応援パッケージ事業の総括と、今後の交流人口と関係人口について問う。

**答** 本市人口の社会動態は、令和6年度は転入超過へと転じたが、令和7年度上半期の出生数は減少傾向。しかし、子育て支援を推進し、市の認知度は向上している。今後も若者世代の意見を取り入れながら、エビデンスに基づいた政策に取り組み。子育て支援施策の令和4年度以降4年間の事業費総額は約12億円で、多岐に渡る事業を行っている。今後も各種事業の実施・施策の推進に取り組む。

交流人口について、令和6年12月末の国際定期便就航後、5か月間で市内の韓国入宿泊者数は、昨年度の

人口減少対策



県全体の年間韓国人延べ宿泊者数に近い数字となった。今後も観光資源の掘り起こしなど観光情報の充実を図る。関係人口は、半農半X推進シェアハウス事業や福祉関連事業所でのUIJインターンシップ事業を実施し、移住交流の促進に効果があつた。今後も、さまざまな業種での移住体験受け入れなどにより、関係人口の創出、拡大、移住促進を図る。

今後のまちづくり

**問** 閉店したキョーエイ鳴門駅前店の今後について、市はどのように考えているのか。

**答** 企業が出店や開発を検討する際には、周辺の商圏人口や競合他社の状況などを重要視するが、地権者の意向が前提となる。地権者である組合で活用方法が決められ、市としてどのような支援が行えるか検討したい。



令和7年5月31日に閉店した  
キョーエイ鳴門駅前店

若者・女性が定住しやすい  
鳴門市を目指して



**問** 本市では、女性の市外流出が課題だが、若者、特に女性に選ばれるためにどのように取り組んでいくのか。

**答** 今年度、女性職員を含めた新たな未来デザインプロジェクトチームを新たに設置し、女性の視点も反映しながら、若者や女性にも選ばれる地域づくりに向け、ターゲットを絞った、より効果的な施策を検討している。地方創生の実現と、若者や女性にも選ばれる地域づくりに向け、全庁を挙げて取り組む。

高齢者が安心して暮らせる  
鳴門のまちづくりを

**問** 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、今後どのような施策を行う予定なのか。

**答** 2040年問題を見据えた地域包括ケアシステムの進化を図っている。地域のさまざまな支援者と情報

を共有し、地域共生社会の実現を目指し、高齢者が安心して暮らしているまちづくりに取り組む。

市民に寄り添う  
ごみ袋交付制度を

**問** 指定ごみ袋の無償交付制度は、特に高齢者や移動困難者にとって十分とは言えない。市役所本庁舎のほか、板東連絡所で交付されているが、市民サービスのさらなる向上のため、他の地域にも交付場所を設けてはどうか。

**答** 現在は、本庁舎および板東連絡所で指定ごみ袋の無償交付を実施している。令和7年12月交付分より、鳴門、瀬戸、北灘、堀江の4つの公民館で新たに交付し、市民サービスの向上につなげる。



鳴門市指定ごみ袋





会派  
令和なると  
たくかわ やすじ  
宅川 靖次

動画はこちら



## 戦没者追悼式の継承

**問** 鳴門市戦没者追悼式を今後も継承していくために、市はどのような取り組みを行っているのか。

**答** 5月10日に開催していた追悼式を直近の土曜日に開催することに改めたほか、SNSなども活用し、若い世代に向けた情報発信の強化などを実施している。また、次世代を担う子どもたちが平和や命の尊さを学ぶ機会として、追悼式において市内各中学校での平和学習の成果をパネル展示している。このほか追悼式を知る機会を増やすため、市内中学生に貸与しているタブレットで追悼式を視聴できるよう、ライブ配信することや、式の様子および遺族の言葉を記録映像として残し、平和学習に活用できるよう検討していく。

今後も多くの方に参列していただき、将来にわたり継承できる追悼式にするため、さまざまな取り組みを実施する。

## デジタル防災行政無線の適切な運用

**問** 地震・津波などの緊急時に防災行政無線が聞こえにくいという声が多いが、改善策は。

**答** 気象条件などにより聞き取りにくい場合や聞き逃してしまった場合の対策として、市公式WEBサイトで放送内容一覧を掲載しているほか、電話をかけていただくことで、自動で放送内容を再生するサービスを提供している。今後もデジタル防災行政無線の適切な運用を実施するとともに、災害時には緊急情報を迅速かつ正確に伝達できるよう、市公式SNSや徳島県公式LINEなどの普及啓発により、効果的かつ確実な情報発信の体制を確保していく。



鳴門市内に設置されている  
防災行政無線



会派  
公明党  
はま せいきち  
浜 盛幸

動画はこちら



## デマンド交通の導入

**問** 全国的にデマンド交通の導入自治体は増えている。本市のアンケート調査では、デマンド交通への興味・関心や意見が多く寄せられ、期待は大きい。そこで、公共交通空白地域を実証実験地域と指定したうえで、地元タクシー会社などに委託し、デマンド交通の確実な導入を進めるべきであると思うが、市の見解は。

**答** デマンド交通は、鳴門市地域公共交通計画において、将来の地域交通を支える新たな移動手段の一つとして導入可能性を検討する重点事業に位置付けている。また、市民アンケートでは高い関心が寄せられ、導入への期待が大きい。これまで市では、他自治体の導入事例の研究、運行事業者との意見交換などを進めてきた。一方で、導入に向けては、運行形態や費用負担のあり方、既存の交通手段との調整、運転手不足などの課題もあり、地域ニーズや実情を分

析し、実証実験の可能性を検討していく。

**要望** 阿波市デマンド交通は、阿波市内にあるタクシー会社2社の普通車と大型車の4台で運営し、運行形態はドア・トゥ・ドアで、予約センター業務は社会福祉協議会に委託、当日1時間前まで予約可能。事業費は、機器レンタル料が年間150万円、予約センター委託費や運行業務委託費などを合わせて年間3500万円を超えない金額で賄われ、実証実験開始当時から現在まで黒字経営である。広い地域で、タクシーのようなドア・トゥ・ドアのシステムを導入することは、利用者にとって最も便利であるため、本市においてもいち早い導入を要望する。



阿波市デマンド型乗合交通  
「あわめぐり」

## 個人質問

### ①三津 良裕

#### 1. 文化振興について

- (1) ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会について

#### 2. うずしおロマンチック海道について

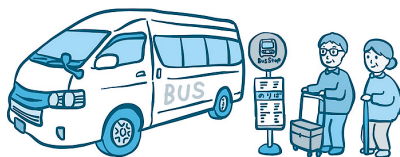
- (1) 通行止め区間の活用について  
(2) 彫刻公園の活用について



### ②八木 亨

#### 1. 地域バス路線について

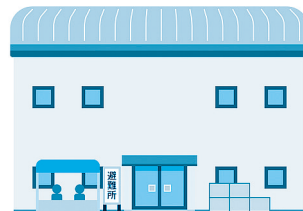
- (1) 地域バス路線の拡充について



### ③潮崎 憲司

#### 1. 防災行政について

- (1) 津波への対応について  
(2) 避難所の環境整備について



### ④東 正昇

#### 1. 未来を見据えたまちづくりについて

- (1) 南部ゲートのグランドデザインについて  
(2) 地域温暖化対策及び地震を見据えた都市計画について

#### 2. 新スポーツ施設の建設予定地について

- (1) 液状化リスクを考慮した新スポーツ施設基本計画の策定について

### ⑤上田 公司

#### 1. まちづくりについて

- (1) 鳴門市まちづくりデザイン会議について  
(2) 大麻町未来づくり会議について

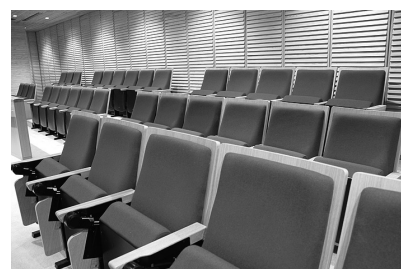
#### 2. 陸上風力発電について

- (1) 自然環境に与える影響について  
(2) 市民の理解について

#### 3. 子育て支援について

- (1) 学校給食について

### 《傍聴席》



傍聴席 29席、車椅子用スペース 1台分

**問** 8月24日、鳴門市で毎年開かれているベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を運営する認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会が解散した。新たな合唱団の立ち上げについて、どのように考えているのか。

**答** これまで市民合唱団により第九を歌い続けてきた歴史があることから、合唱団を立ち上げる場合は、引き続き民間が主体となっていたいただきたい。聞き取り内容を踏まえ、今後の会員や関係者との連携協力体制、演奏会の開催方針などを検討する。

令和9年度の文化会館リニューアルオープンの際の演奏会は、関係者と運営体制を構築し、新たな第九演奏会として全国の合唱団の皆様にも参加いただけるよう準備を進める。

### ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会



みつ よしひろ  
三津 良裕  
(創心クラブ)

動画はこちら



**問** 北灘の三津トンネルの外の海岸線をうずしおロマンチック海道と命名し、鳴門市の北の観光の名所として彫刻公園ができた。現在は全面通行止めとなっているが、災害時などに三津トンネルの補助道路として活用できるのか。また、海道の中にある彫刻公園を観光資源として活用できないか。

**答** 国道11号が通行できなくなった場合に、道路を利用する必要が生じたときは、国と連携しながら通行止め解除などを実施したい。

**要望** 景勝地「うずしおロマンチック海道」の危険性を取り除き、通行できるように強く要望する。



### うずしおロマンチック海道





やぎ とうる  
八木 亨  
(令和なると)

動画はこちら



## 大麻地区に地域バスを

**問** 高齢者の移動手段の確保が必要であると考え、地域バスの路線を大麻地区にも延伸してはどうか。

**答** 現在、徳島バスが運行する鳴門駅を中心に主要拠点を結ぶ路線バスに加え、主に市内中心部を循環する地域バスの運行を行い、住民の移動手段の確保に努めている。

大麻地区においては、JR路線と路線バスが並行して運行されているが、地域バスは運行されておらず、通院や買い物といった日常的な移動手段の確保など、課題があると認識している。

一方で、地域バスの延伸については、利用ニーズや地域間バランス、既存の交通手段との調整に加え、ドライバー不足を含む運行体制の確保など、多くの課題を解決する必要がある。

大麻町の一部の地域では、民間事業者による高齢者の買い物に係る移動支援が行われているが、新たな移動支援の導入に向け検討を進めている。

また、令和8年1月頃には、県と民間事業者が連携した自動運転技術によるロボットタクシーの実証運行が、本市の西部地域を中心に実施される予定であり、新たな移動手段に対する期待も高まっている。

今後も、新たな取り組みを注視するとともに、引き続き大麻町未来づくり会議での議論や地域の意見を聴きながら、地域の実情に応じた移動手段の確保に努める。

**要望** 大麻町への地域バス路線延伸の早期実現を要望する。



里浦栗津運動公園線の地域バス

## 7月の津波注意報発表時の対応



しおざき けんじ  
潮崎 憲司  
(ナルト地方創世会)

動画はこちら



**問** 令和7年7月30日に発生した力ムチャツ力半島付近を震源とする地震により発表された津波注意報を受け、市は沿岸部に避難指示を発令した。沿岸部に位置する北灘地区に避難所を開設したが、なぜこのような対応をとったのか。

**答** 北灘地区では、優先開設施設となっている旧北灘東幼稚園が津波避難場所であり、浸水想定区域からも離れていることから、避難所として開設した。

## 開設された

### 9か所の避難所

**問** 津波に対応できない避難所が開設されたことについての妥当性は。

**答** 開設した避難所の妥当性については、今回の避難指示が津波高0.2メートル以上1メートル以下の注意報であり、沿岸部の地域が対象であったため、沿岸部以外の避難所は

浸水のおそれがないと判断し開設した。津波の注意報発表時と警報発表時の運用は違いも生じるものと考えているが、今後もより適切な津波避難の対応などについて運用の見直しを図っていく。

**要望** 避難所開設基準、津波対応可否の整理などの見直しを行うよう要望する。

## 避難所の夏場の対策

**問** 空調設備のない避難所の熱中症対策は。

**答** 本市では、夏季の災害時に備え優先施設へ空調設備を整備しており、中学校体育館へのエアコン設置も計画的に進めている。また暑さ対策の備蓄品や衛生対策資材の導入を検討している。自助の啓発にも取り組む。災害対応を迅速に行うとともに、安全に、安心して過ごすための環境づくりを推進する。



避難所環境の充実が求められる  
小・中学校の体育館



個人質問

**問** 候補地の液化化リスクについては、県の液化化危険度分布図によると、危険度が極めて高いエリアとなり低いエリアが混在しており、地盤改良工事により、十分な安全性を確保できると認識している。

**答** 安全上の問題については、避難所機能が想定される体育館部分は、津波や浸水の影響を受けないような対策が必要と認識しており、具体的

**問** 第2回定例会に続き、今回も新スポーツ施設について質問する。液化化リスクが非常に高い地域に位置するポートレール鳴門西側敷地を建設予定地としていることについて、市はどのように認識しているのか。

**答** また、地質調査やハザードマップなどの科学的データに照らしても、ポートレール鳴門西側敷地に災害時の拠点ともなり得る新スポーツ施設を建設する優位性はないと考えるが、本当に安全上の問題はないと判断しているのか。

新スポーツ施設  
建設候補地の妥当性



**意見** 新スポーツ施設の建設場所については、ポートレール鳴門西側敷地、旧衛生センター跡地ほか2か所が候補地になるが、南海トラフ巨大地震に備える意味からも、一番安全性が高いのは、高台にある旧衛生センター跡地ではないか。旧衛生センター跡地が選定されない原因が、有害物質であるならば、有害物質を取り除き環境回復することは、行政の責任である。

まちづくりについて



**問** まちづくりデザイン会議については、根拠となる財源や調査、数値データを示すことなく、国道28号線と谷通りを結ぶ案を含む3つの案が提示され、大麻町未来づくり会議では、大麻町民の思いを知らないかのような「大麻町の方は撫養町には買い物に行かず、近隣町に行くのが特徴だから、その特徴を活かす」という驚きの発言もあった。少なくとも、各委員が両会議での議論を知ったうえで、それぞれの方向性を決めるべきだと思ふが。

**答** 各委員が両会議の状況を把握し、連携について議論することは、市全体の活性化に繋がると考えているが、まずは各会議で現状や課題を共有し、委員の意見や提案を受けながら議論を進めていくとともに、今回の提案を踏まえ、今後の会議の運営方法のあり方について慎重に検討していく。

北灘町の陸上風力発電について

**問** 専門家からは「中止を前提とした計画の再考をするべき」との意見があり、地域住民からも「うわさで知る程度でほとんど知らない」と言う声が寄せられている。市としては、専門家の意見を重く受け止めるとともに、地域住民に対してもより理解が深まるよう、事業者に求めなくてはならないはずだが。

**答** 今後、有識者の意見を踏まえて、環境アセスメントにかかる意見書の作成や事業者との協議を行う必要があると考えている。また、地域住民の理解についても、さらなる説明や周知が必要であると感じている。

今後も、事業者に対して十分な説明を尽くすよう協議を行っていく。



## ■ 令和6年度の決算を審査しました ■

5日間にわたり予算決算委員会を開催し、令和6年度決算に関する議案13件について審査しました。

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を抜粋したものです。】

### 教 育

■：質疑 ●：答弁

#### 【教 育】

■ 鳴門理数塾開講事業の概要は？

- 鳴門教育大学の協力のもと、中学生が定期的に理数分野に特化した教育を受けられる機会を設け、理数学習への意欲向上を図るため、令和6年度から鳴門理数塾開講事業を実施している。令和6年度は、第一中学校の生徒を対象に、放課後に希望制で実施し、理数科目が得意な生徒向けのアドバンス教室と、苦手な生徒向けのグローアップ教室の2コースを設けた。アドバンス教室は7回開催し、延べ51人が参加。グローアップ教室は6回開催し、延べ31人が参加。

令和7年度からは、アドバンス教室に一本化し、市内全中学校の生徒を対象として、市の会議室などを会場として実施している。

■ 学習面での成果は？

- 学校の授業では扱わない、より深い数学的理解を促す内容となっており、単にテストの点数の向上を目的とするのではなく、理数分野への興味・関心を高



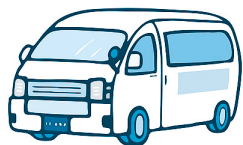
めることを重視している。継続的な参加を通じて、子どもたち一人ひとりの能力をさらに伸ばしていきたいと考えている。

### 市民生活

■：質疑 ●：答弁

#### 【公共交通】

- 公共交通カバー人口比率は、何を示した数値なのか？
- 駅から半径800m圏内およびバス停から半径300m圏内に居住している人口の割合を示している。令和8年度目標として85%を設定し、達成に向け取り組んでいる。国勢調査の人口データを基に算出しているため、現時点での正確な比率を示すことは難しいが、公共交通空白地域とされていた矢倉地区や島田地区において、移動支援を新たに導入したことで、公共交通カバー人口比率は改善傾向にあると見込んでいる。



\* \* \*

■ 新たな移動手段の導入について、どのように考えているのか？

- 地域公共交通計画においては、限られた人員や財源の中で既存の交通資源を最大限に活用することを基本としている。しかし、人口減少や高齢化が進む中で利用者数の減少や運転手不足などの課題があるほか、従来の定時定路線での公共交通の運行では多様なニーズに応じていくことは難しい現状にある。矢倉地区や島田地区で実施している移動支援の展開に加え、デマンド交通や自動運転の技術を活用し、地域の実情に合わせて柔軟に対応できる手段を検討していきたい。

### 子育て支援

■：質疑 ●：答弁

#### 【保 育】

- いきいき保育環境なると補助金事業の実績と効果は？
- 就学前保育・教育の質の向上および、勤務する職員が働きやすい環境を整えることを目的として、平成27年度に創設した補助金である。令和6年度は13

メニューを展開し、市内私立保育所や認定こども園14箇所に交付した。令和6年度は、アレルギー対応食のための調理員加配事業、働きやすい職場づくり事業、備えない防災推進事業に多く申請があった。



## 暮らしを守る

■：質疑 ●：答弁

### 【消 防】

- 本市において3.5トン以上の準中型免許を必要とする分団車両は何台あるのか。
- 5台。現在の免許制度では準中型免許が必要であるが、平成29年6月以前に免許を取得した方であれば普通免許にて運転可能。

### 【防 災】

- 危機管理対策基金の現状と今後の方向性は？

- 発生確率が高まっている南海トラフ巨大地震や近年の気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化などを鑑み、鳴門市におけるさまざまな危機事象に対する応急対策、復旧・復興対策、被災者支援、予防対策などに要する経費に充てるため、総合的な危機管理対策を可能とする基金として、令和6年3月に危機管理対策基金を設置した。現在、2億3万9,000円の積立額となっており、今後も毎年の予算の執行状況を勘案し、着実に基金の積立額を確保していく。

## 観光・産業

■：質疑 ●：答弁

### 【観 光】

- 鳴門スカイラインで市が管理している範囲と維持管理の内容は？
- 四方見展望台駐車場の展望台側および公衆トイレ側の両方を管理しており、具体的には四方見展望台駐車場の清掃やトイレなどの管理、景観維持のために樹木剪定を行っている。



予算執行残額が約440万円となった理由は？また、今後の事業改善についての考えは？

- 予算執行残額約440万円については、主に補助金の執行状況によるものと考えている。企業立地奨励条例の雇用奨励金について雇用人数が想定よりも下回ったこと、また、サテライトオフィス等誘致支援事業補助金について、事業者が本市に進出したタイミングが年度末になったこともあり、執行額が予算額よりも少額となっている。今後についても、補助金を活用しながら企業誘致を進めていきたい。

### 【産 業】

- 企業誘致推進事業について、令和6年度当初予算1,389万円に対し、決算額が約943万7,000円と、

## その他

■：質疑 ●：答弁

### 【農 業】

- 経営継承・発展支援事業補助金と補助内容は？
- 令和3年度に国において創設された事業であり、地域農業の担い手の経営を継承した後継者に対し、その経営の発展に対する取り組みを支援する事業である。また、補助内容については、認定農業者4件の後継者に対して省力化・業務の効率化による機械の導入などを支援するものであり、国と市がそれぞれ2分の1ずつ、上限額を100万円とし補助を行った。



### 【いきいきサロン】

- いきいきサロン活動支援補助金の実績は？
- 高齢者のいきがいづくりおよび健康づくりを推進するため、サロン活動の実施者へ補助金を交付する事業であり、平成28年4月から実施している。令和6年度は61団体に総額329万3,000円支給した。



### 【四国ゲートウェイ事業】

- 四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業の実施内容は？
- 市内の東西南北・中央に位置する交流拠点施設を運営する運営事業者の取り組みを支援しているほか、市内の事業者団体が主体的に実施する音楽やアート・グルメなどの着地型のイベントを支援している。令和6年度は、市の支援により、鳴門市初となる音楽ジャズイベント「鳴門JAZZ」が、鳴門公園とボートレース鳴門で開催された。

### 【水 道】

- 布設替工事の進捗状況は？
- 本市における大災害に備えた布設替進捗状況は、令和7年3月末現在、基幹管路の耐震化率は38.8%であり、前年は37.7%であったことから1.1ポイント上昇している。



# だより」表紙制作 (Ⅲ)

## \*\*\* 「議会だより133号」表紙制作者紹介 \*\*\*



### 〈鳴門高校生徒会〉

喜来 裕弥 さん (生徒会会長 2年)  
岩田 累暉 さん (生徒会副会長 1年)  
有田 光太郎 さん (2年)  
板垣 智稀 さん (1年)  
宮崎 駆真 さん (1年)

### 〈鳴門高校職員〉

山本 義裕 教諭

《表紙の説明》 鳴門高校は“夢をかたちに”できる学校をめざしています。表紙に写っているのは、各委員会の委員長および生徒会会長・副会長です。各委員長を筆頭に生徒の“想い”を学校生活に反映させられるよう、鳴高生は日々頑張っています。そんな熱い鳴高生たちの活動が伝わればいいなと思い、表紙を作成しました。

## 表紙を作成しての感想

### Q. 表紙を作ってみての感想は？

- A. また表紙を作る機会があれば作ってみたいと思いました。
- A. 鳴高生の頑張りが少しでも伝わればいいなと思います。
- A. このような表紙作成に携われる機会はめったにないと思うので、とても新鮮でした。
- A. とても意義深い活動にすることができたと思います。

### Q. 工夫した点はどこですか？

- A. 各委員長の意気込みが伝わるように、思いをボードに書き込みました。
- A. この表紙作成をきっかけに、委員会活動の盛り上げに繋げることを意識しました。
- A. “夢をかたちに”という鳴門高校のビジョンが伝わるよう表紙に載せました。



### Q. これからの鳴門高校をどのように発展させていきたいですか？

- A. 今まではICTを活用した授業の改善、ドイツや台湾との国際交流などで魅力化を推進してきました。これからは、もっと地域や身近な所にも目を向け、ボランティア活動や地域の行事に関わっていき、地域の方々と交流を深めたいです。
- A. 今回作った表紙のように、情報発信を大切にしたいです。

### Q. 今後、鳴門市や地域の方々とどんな関わりを深めたいですか？

- A. 地域の方々に自分達から挨拶をして、身近な関わりを大切にしたいです。
- A. ごみゼロをめざした海岸清掃などを通して、交流を深めつつ、地域に貢献したいです。
- A. 今年は文化祭で献血ボランティアを実施し、46名の方に協力していただきました。来年は50名をめざします!!

### Q. あなたが考える鳴門高校の魅力とはなんですか？

- A. 学習環境が整っていること、生徒に向き合ってくれる先生方がたくさんいること、生徒が主体的に学習や部活動、学校行事に取り組み、自分の夢に向かって努力し続けられることだと思います。
- A. みんなとても元気なので、どんな壁でも突破できてしまう生徒達の集まりです。
- A. 生徒のことを考えて活動している生徒会、委員会のメンバーや先生方のコツコツとした頑張りが鳴門高校の誇る魅力です。



# 鳴門高校生の「議会」

## 鳴門高校生徒会のみなさんにインタビュー

10月31日(金)

鳴門高校生徒会役員4名に議会事務局職員がインタビューしました。

### ◆生徒会の構成は？

- ・新生徒会は、2年生4人、1年生6人で活動している。



### ◆生徒会活動のなかで、大切にしていることや心掛けていることは？

- ・学校をよりよく変えていきたいため、生徒一人ひとりの言葉（学校に対する要望や思い）を聞いて取り入れるように心掛けている。

### ◆鳴門市の「好きなのところ」「今後、こうなったらいいなと思うところ」は？

【好きなのところ】

- ・季節ごとにおいしい旬の食材がたくさんある。
- ・山も海もある、自然の豊かさ。

【もっと良くしたいところ】

- ・学校帰りなどに遊べる場所が少ない。
- ・鳴門市の中心となる建築物がない。
- ・自転車で通学する時に、道が狭く、車も通り危なく感じるため、対策を講じてほしい。



### ◆大人や地域の人に、「高校生の思い」として伝えたいことはあるか？

- ・鳴門の魅力などについて、ポスターを作ったり、SNSやニュースなどで発信してみたい！

### ◆今回、表紙制作のことを先生から聞いたときの気持ちや感想は？

- ・最初はとてもびっくりしたが、先生から表紙制作の趣旨を聞いて、頑張ろうと思った。

### ◆普段、議会だよりを見ることはあるか？

- ・あまり見たことはない。
- ・おばあちゃんが見ているので、一緒に見ている。
- ・自分に関係する内容(議題)については特に注目して見ている。



### ◆見たいと思う議会だよりは？

- ・文字が多く、難しい言葉などもあるため、Q & A（一問一答）形式の方が見てみようと思える。

### ◆鳴門高校と市議会・議員で今後やってみたいことはあるか？

- ・議員さんに学校に来てもらって、議員さんのことや議会のことなどについて体育館や教室などでお話を直接してほしい。
- ・議員さんとの交流会を開催し、自分たちの思いや考えを伝えたい！

鳴門高校生徒会のみなさん御協力ありがとうございました。

## 令和7年第4回定例会の予定（11月28日～12月17日）

日	月	火	水	木	金	土
11月23日	24	25	26	27	28 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	29
30	12月1日 一般質問 通告締切	2	3	4	5 一般質問(代表)	6
7	8 一般質問(個人)	9 一般質問(個人) 予算決算委員会	10 総務文教委員会	11 生活福祉委員会	12 産業建設委員会	13
14	15	16 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	17 本会議／閉会	18	19	20
21	22	23	24 全員協議会	25 第1回臨時会 開会／閉会	26	27

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

### ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

#### 【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信。
- ②鳴門市役所 本庁舎1階 待合ロビー付近に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしません。個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。



### もっと議会を知りたい



#### 【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信（過去4年間の映像）でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。



#### 【会議録をウェブサイトで見よう】

- ①「鳴門市議会」を検索。
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索。



### 《傍聴にお越しください》

令和7年第4回定例会は上記の日程で開催予定です。

本会議、各常任委員会は原則午前10時に開会します。ぜひ、傍聴にお越しください。

【受付】市役所本庁舎4階 議会事務局窓口（西側エレベーターをご利用ください）

※当日、受付にて氏名、住所をご記入ください。傍聴券をお渡しします。



#### 《議会広報委員会》

委員長：小西 努

副委員長：上田 公司

委員：浜 盛幸・宅川 靖次・八木 亨

圃山 俊作・江戸 貴志・三津 良裕

### 編集後記

今回の議会だよりの表紙は、鳴門高校の皆さんが「“夢をかたちに” できる場所」として、やりたいことや思いを伝えるメッセージボードを作成してくれました！

議会も、この思いとともに鳴門市の未来を築いていきます！

（副委員長：上田 公司）

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。